



環境省主催「E S G分野の取組に関する意見交換会」 ご説明資料②

オムロンにおける環境課題認識と取り組み

2017年11月27日

オムロン株式会社

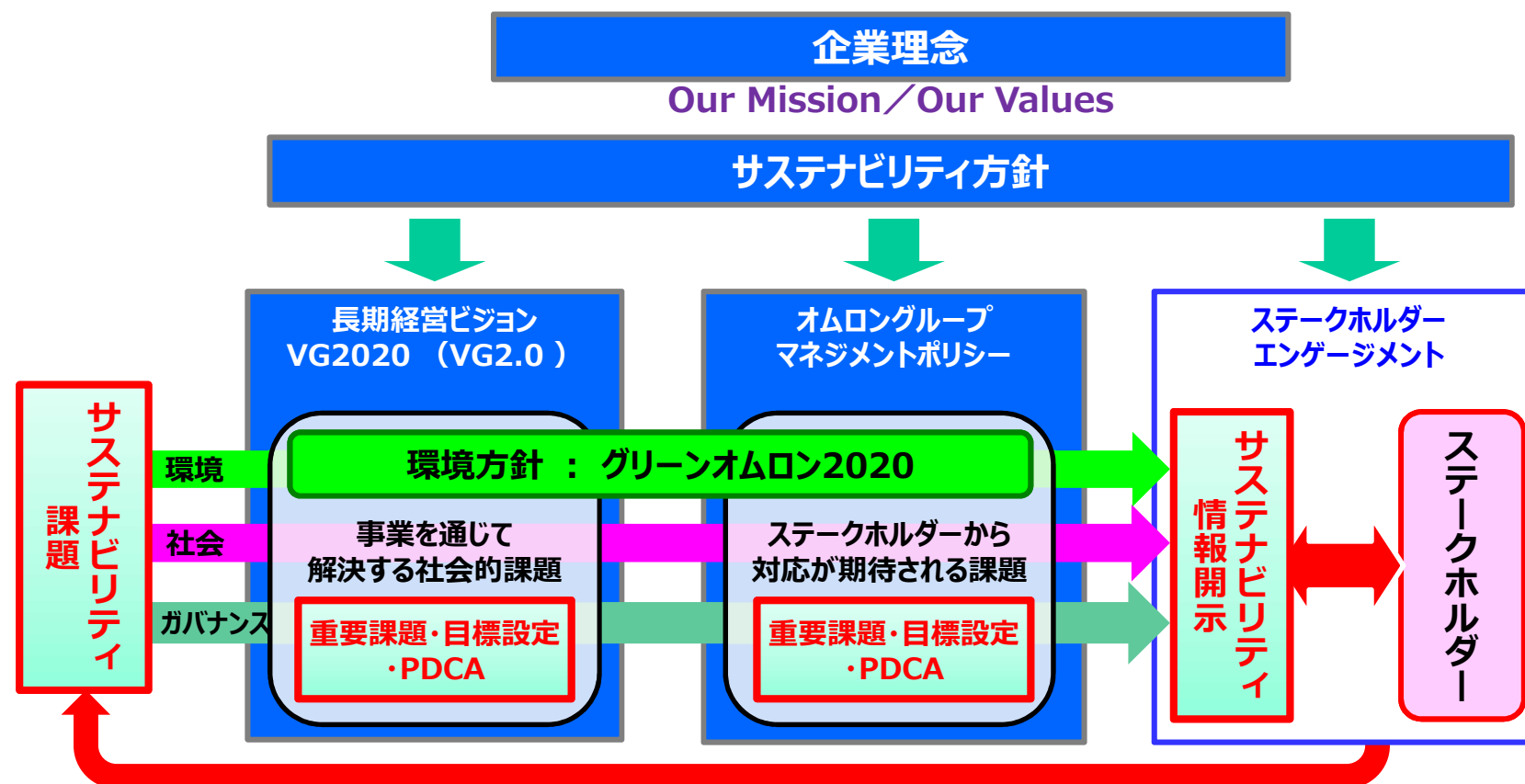
グローバルものづくり革新本部 大原基男

1. オムロンの環境方針

サステナビリティ取り組み体系と環境方針の位置付け

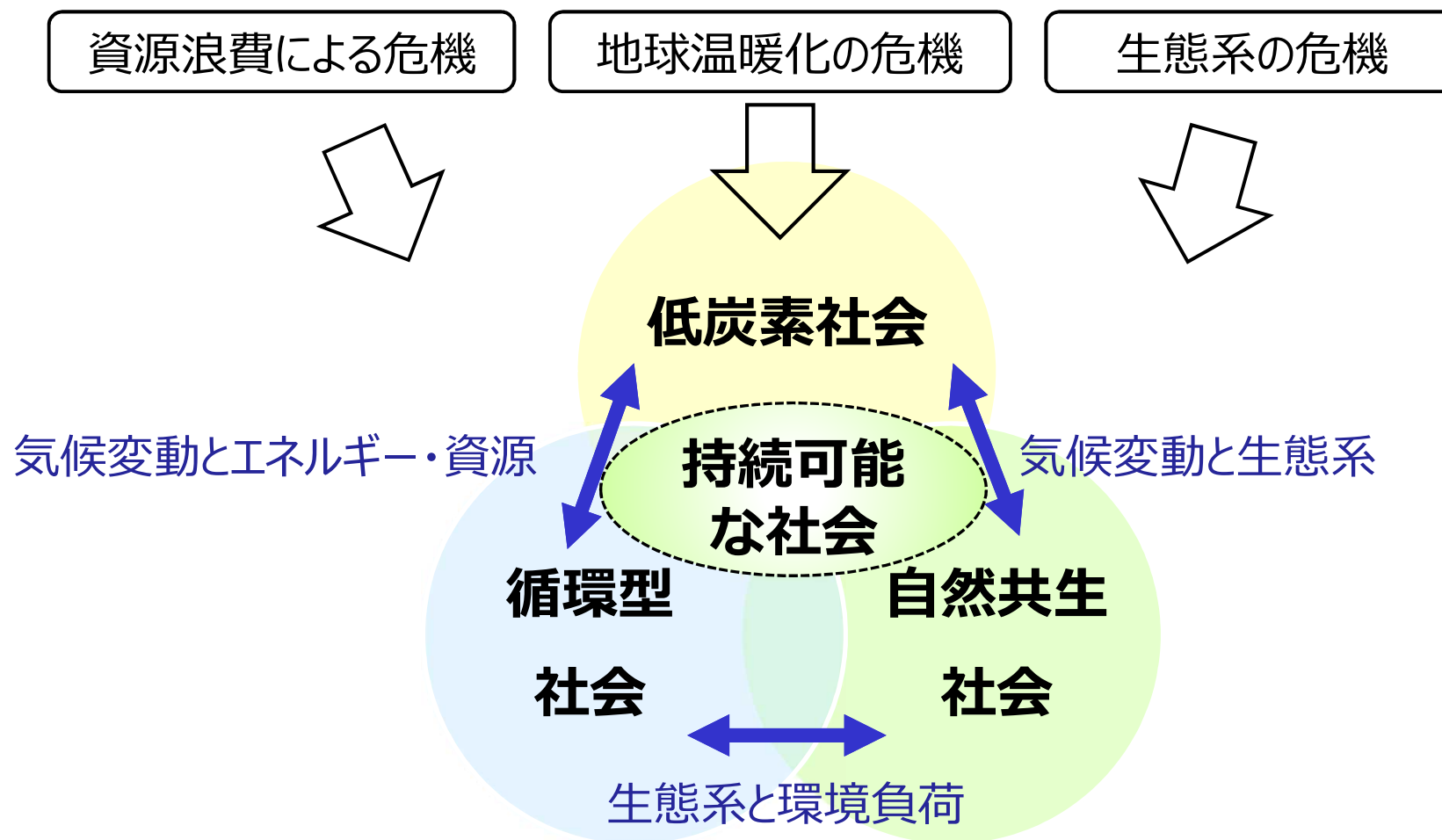
オムロングループは、事業を通じて持続可能な社会の実現に貢献します

- ＜意図＞・オムロンは企業理念の実践を通じて「よりよい社会」の実現を目指しています。
- ・環境視点で「よりよい社会」とは「持続可能な社会」です。
 - ・「持続可能な社会」の実現に向けて事業を通じて貢献します。



持続可能な社会とは

「低炭素社会」、「循環型社会」、「自然共生社会」が実現されている姿



オムロングループは3つの社会実現に取り組みます

グリーンオムロン2020 環境方針

私たちは、オムロングループの企業理念に基づき、地球環境に貢献する商品・サービスの提供と、すべての経営資源を最大限、有効に活用することにより、グローバルで持続可能な社会の実現に貢献していきます。

1. 地球環境に貢献する商品・サービスの提供

私たちは、持続可能な社会の実現に貢献する商品・サービスを提供します。

2. 地球温暖化防止

私たちは、バリューチェーン全体で温室効果ガス排出量の継続的改善を行います。

3. 資源の有効活用

私たちは、ものづくりに必要となるすべての資源は、地球・社会からの預かりものと考え、最大限、有効に活用します。

4. 自然との共生

私たちは、大気汚染・水質汚染・土壌汚染が自然環境の破壊につながることを強く認識し汚染の予防に取り組めます。

5. 環境マネジメントの推進

私たちは、グローバルに環境マネジメントシステムを確立し、継続的な改善を図り、法的要求事項を順守し、ステークホルダーに対して環境情報開示を行い説明責任を果たしていきます。

2. 環境課題認識と取り組み

オムロンとして取り組む環境関連社会的課題

サステナビリティ課題

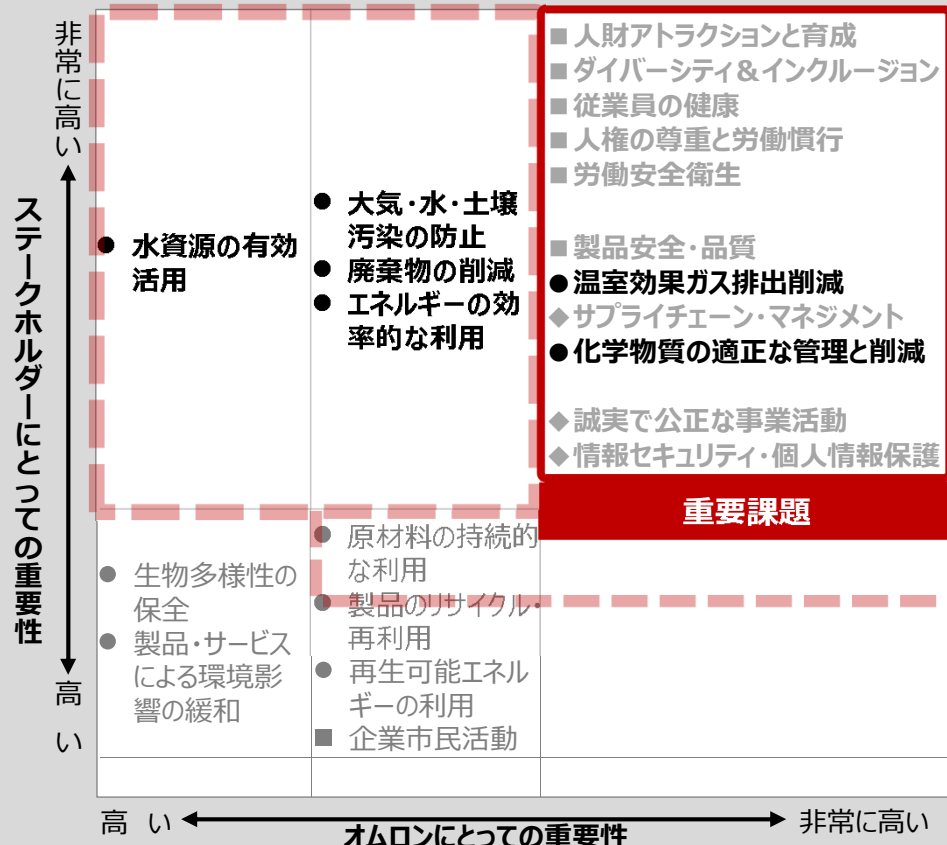
事業を通じて解決する社会的課題

注力ドメインから「事業を通じて解決する社会的課題」として重要課題を設定

ステークホルダーの期待に応える課題

ステークホルダーとオムロンにおける重要性より重要課題を設定

◆Gガバナンス ●E:環境 ■S:社会



サステナビリティ方針・課題を受けて、オムロンとして取り組む環境関連社会的課題を設定しています。

オムロンとして取り組む環境関連社会的課題

- 温室効果ガス排出削減
- 化学物質の適正な管理と削減
- 廃棄物の削減
- 大気・水・土壌汚染の防止
- 水資源の有効活用

* エネルギーの効率的な利用は温室効果ガス排出削減に包含して取り組む

サステナビリティ課題と主な非財務目標

社会的価値の創出を通じた企業価値の向上



・温室効果ガス排出量の削減
・化学物質の適正な管理と削減

・環境貢献量
＞生産拠点のCO₂排出量
・電子体温計と電子血圧計等の普及による水銀削減：69トン／年

オムロングループ環境貢献量実績

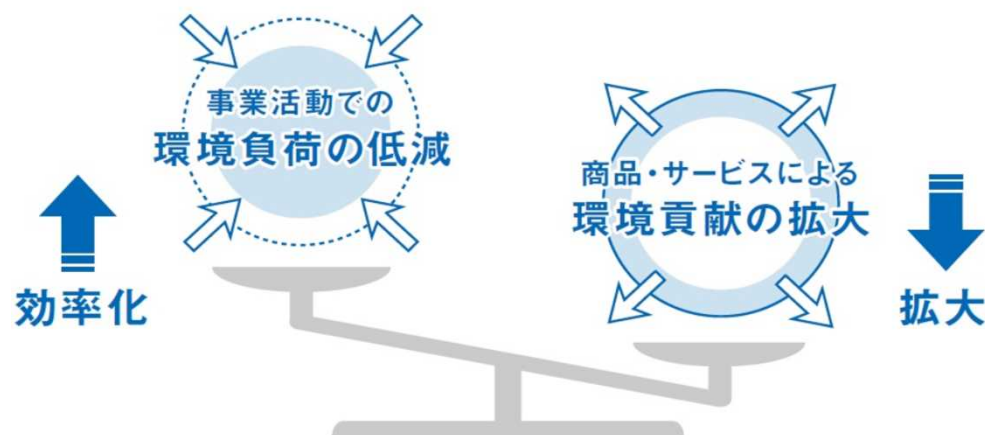
低炭素社会の実現に向けて、環境負荷低減に寄与する商品・サービス（太陽光発電システム用パワーコンディショナなど）の提供による環境貢献量の拡大に注力しています。
あわせて、当社省エネ支援製品（環境あんどん など）の導入などを通じて当社生産拠点でのCO2削減に努めています。

環境貢献量は5年連続、生産拠点のCO2排出量を上回りました。

事業を通じて環境貢献量を拡大

すべての経営資源を
最大限、有効に活用
(エネルギー・資源生産性を向上)

社会に有用な
商品・サービスを提供
(地球環境に貢献する事業を拡大)

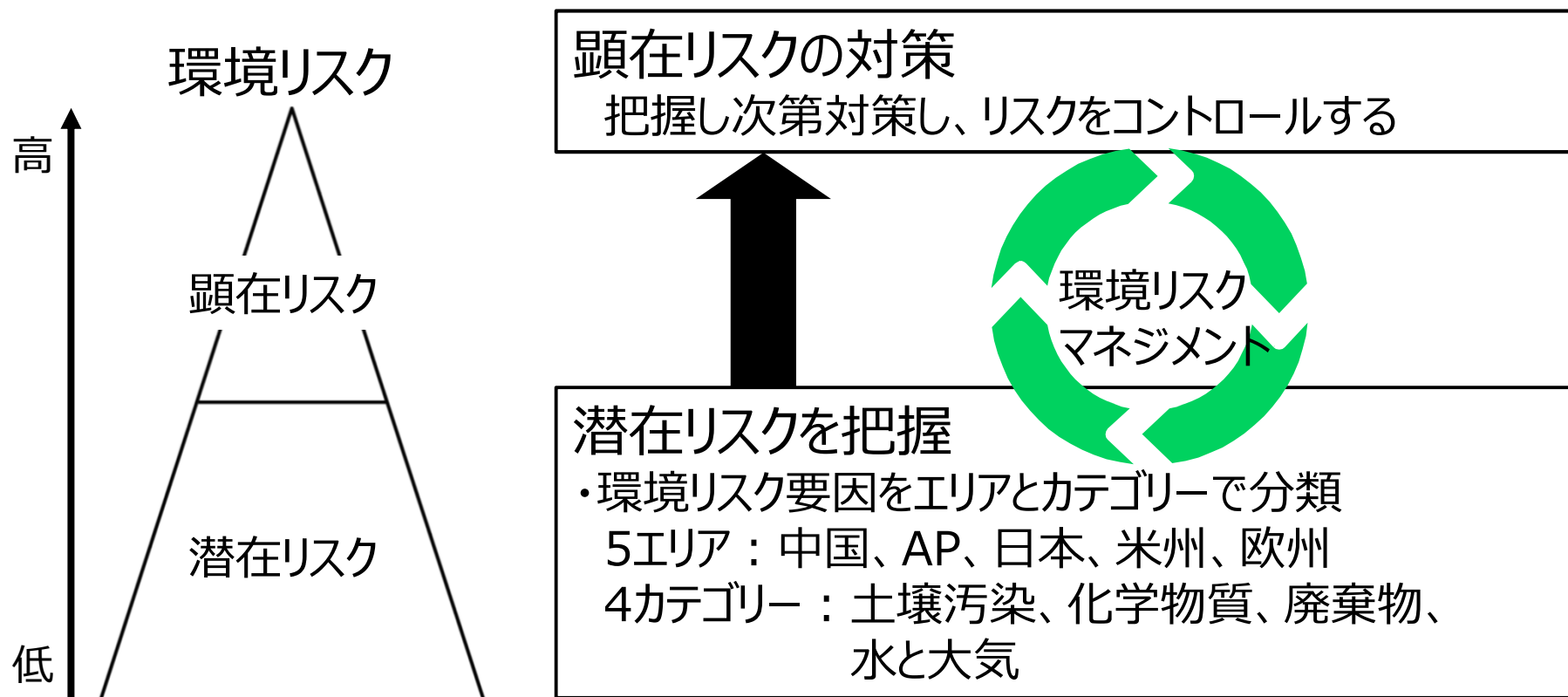


2020年度目標、2016年度実績

項目	2020年度 目標	2016年度 実績
1 温室効果ガス 排出削減	環境貢献量 > 生産拠点のCO2排出量	593千トンCO2 > 200千トンCO2
	グローバル売上高CO2生産性 2010年度比 30%以上向上	20%向上
2 化学物質の 適正な管理 と削減	電子体温計と電子血圧計等の 普及による水銀削減69トン/年	52トン/年
	・フロン(CFC)の2018年全廃 ・フロン(HCFC)の全廃 ・水銀(蛍光灯)の全廃	目標設定と削減計画の策定完了
3 廃棄物の 削減	グローバル全生産拠点での ゼロエミッション達成	18拠点 (進捗率45%)
4 大気・水・土壌 汚染の防止	グローバル全生産拠点での 環境リーガルアセスメント実施と是正完了	21拠点 (進捗率53%)
5 水資源の 有効利用	グローバル全生産拠点での水使用量 2015年度比 6%削減	目標設定と削減計画の策定完了
6 環境マネジメント の推進	グローバル全生産拠点での ISO14001認証取得と継続	38拠点(進捗率95%)

環境リスクマネジメント 基本方針

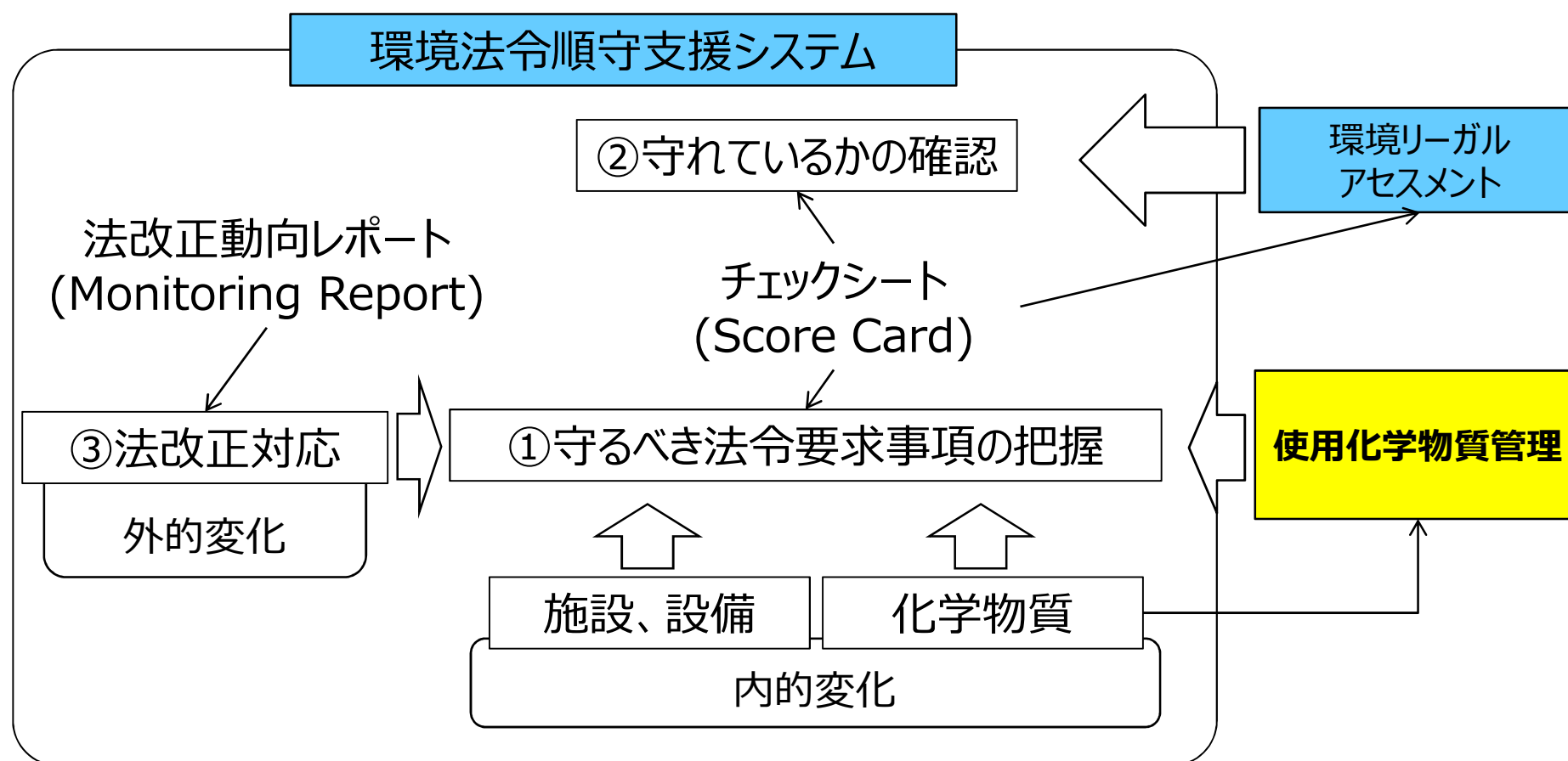
1. グローバルで環境関連法規制を順守する。
2. グローバルで社員および地域住民への健康被害を出さない。
3. 潜在する環境リスクを把握し、計画的にリスク低減に取り組む。



環境リーガルマネジメントのフレーム

法令順守に必要な 3 要素

- ①守るべき法令要求事項の把握
- ②守れているかの確認
- ③法改正の把握と必要な対応の実施





＜免責事項＞

- 本資料の記載事項は現時点のものであり、今後変更となる可能性がございます。
- 全ての情報について当社の許可なく転用することを禁じます。